

2020年5月27日

静岡市長 田辺信宏 様

日本共産党静岡市議会議員団
団 長 内田隆典

新型コロナウイルス対策に関する申し入れ（第4次）

貴職の新型コロナウイルスへの対応に改めて敬意を表します。

さて、この間、私たちは貴職に対して新型コロナウイルス対策について3次に亘る申し入れを行い、本市では3度の補正予算を編成し市民要望に対応してきたところです。一方で、財源として活用してきた財政調整基金が枯渇しつつあることから、今後の施策に必要な財源を捻出する必要に迫られています。また、貴職は去る5月13日の市長定例記者会見において、5大構想を含む全事業を見直しの対象とする考えを示しました。

本議員団としてもすべての市民の命とくらしを守るため、さらなる必要な対策とそれに伴う財源の見直しは急務であると考え、第4次として下記のとおり財源確保に関する申し入れを行います。

記

- 1 新たな財源確保にあたり、以下の基本姿勢にたつこと。
 - (1) 事業の見直しにあたっては、新型コロナウイルスから市民の命とくらしを守ること及び市民の負担軽減を最優先課題として位置づけ、行うこと。
 - (2) 今後のさらなる施策には相当の財源が必要となることから、大胆な事業の見直しを行うこと。具体的には、3次総5大構想での歴史文化施設、市役所清水庁舎、海洋文化施設をはじめとする大型公共事業は一旦凍結し、中止を含む見直しを行うこと。
 - (3) 事業の見直しについては、市民に情報を公開し、市民的合意を図ること。

- 2 新型コロナウイルスによる影響で事業が中止となった予算や、直ちに執行する必要のないものを、対策予算に振り向けること。
- 3 国に対して、使途制限のない臨時交付金の増額など必要な財政措置を強く求めること。